



退任にあたって 「ありがとうございました」



感染制御部 部長 白倉良太

— TITLE —

平成18年3月末日をもって、大阪大学を定年退職することになりました。また、感染制御部の部長として無事、任務を終えることができますことも、偏に皆様のご支援、ご鞭撻の賜と衷心より感謝申し上げます。原稿を書くにあたって、ICT会議の議事録やICT Monthly をひもといてみますと、「いろいろあったなー」と思うとともに、多くの方々との邂逅があり、ともに語らい、ともに汗することができたことを、つくづく果報者だと思ふ次第です。

1998年3月に院内措置ながら、感染対策部が設置されたときに、それまでの活動史をまとめてICT Monthlyに投稿しました。そこには“1995年7月に有志によるICT編成準備会ができ、「防疫対策委員会」にICTの結成を提案した”とあります。活動方針をかかげ、活動拠点（場所と設備・備品）を要求しましたところ、当時臨床検査部部長だった柳原教授のご厚意で、部長室を対策室として使わせていただくことになりました。居候すること3年、2001年4月感染症対策部の部屋ができ、体制強化されました（ICT Monthly No.56 参照）。

2003年4月に文部科学省の予算措置のもと、中央診療施設「感染制御部」が設置され（ICT Monthly No.81 参照）、現スタッフが

配置されていくわけですが、こうして歴史を振り返るにつけ、よくぞここまで到達できたものだと感慨深いものを感じます。これも偏に病院感染対策の発展に、ご協力いただいた皆様のおかげだと感謝申し上げます。また、ともに汗を流して“今”を築いてきた対策部の方々に心からお礼とお祝いを申し上げます。

感染症対策部時代にICT(ワーキンググループ)会議が133回開かれました。2003年4月から感染制御部となり会議はICT企画会議に引き継がれ、36回開かれましたので、合計169回です。この10年間でこれほど実質的な内容で、これほど頻回に継続して行われた会議があるでしょうか。このようなバイタリティーが感染制御部をここまで発展させた源だと思ひます。議事録を読み直してつくづくそう実感いたしました。

そのような事業に参加することができたことを誇りに思ひます。本日の教授会で新部長に朝野先生が就任することが了承されました。新部長の下スタッフ一同はますます精進されんことを、そして病院の皆様におかれましては彼らの活動をご支持いただくことをお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

長いこと、おおきに！



白倉部長最後のICT企画会議 ～最後の晩餐～



部長 白倉良太

新部長 朝野和典

2006.03.15